

速硬性 一材型ポリマーセメントモルタル

NEXSUS-Super-

〈東・中・西日本高速道路株式会社編著「構造物施工管理要領」記載「左官工法による断面修復の性能照査項目」の性能試験完了材料〉

NEXSUS-Super-は、特殊セメント、骨材、繊維、特殊混和材及び粉末樹脂を配合したプレミックス製品です。適量の水を加えて練混ぜるだけで使用できる、一材型のポリマーセメントモルタルです。コンクリート欠損部の断面修復だけにとどまらず、速硬性、早強性に優れるため、緊急工事にも適用できます。

▶ 特 長

- 早期の強度発現に優れます。
- 安定した、高い圧縮強度および曲げ強度を発現します。
- 硬化が早く、作業性に優れ、容易に施工ができます。
- コンクリートとの接着性が良好です。



▶ 用 途

- コンクリート構造物の欠損部の断面修復
- コンクリート構造物の各種緊急工事

▶ 製品概要・標準配合

- NEXSUS-Super-: 25kg/袋

■ 標準配合

NEXSUS-super-	25kg(1袋)
練混ぜ水	3.00~4.25kg(標準3.5kg)

■ 1m³当りの標準使用量(練混ぜ水量3.5kg/袋の配合)

NEXSUS-super-	約1,900kg(76袋)
練混ぜ水	266kg

1) 練混ぜ水量は、施工時の気温や施工方法により変動します。したがって、標準配合の範囲内で調整して下さい。

※練混ぜ水量は、気温が低い場合は少なく、気温が高い場合は多くなります。

2) 練混ぜ水は、水道水またはそれに準じる清水を用いて下さい。

3) 練混ぜ水量3.5kg/袋により算出した数値です。

▶ 1袋当りの練り上がり量 約13.2ℓ

▶ 性能例(20℃)

■ 性能例①

試験項目	材 齢	試験結果	試験方法
曲げ強度(N/mm ²)	1日	5	JIS R 5201 (20℃気中養生) (40×40×160)
	7日	8	
	28日	9	
圧縮強度(N/mm ²)	6時間	10	
	1日	21	
	7日	40	
	28日	47	

■ 性能例②

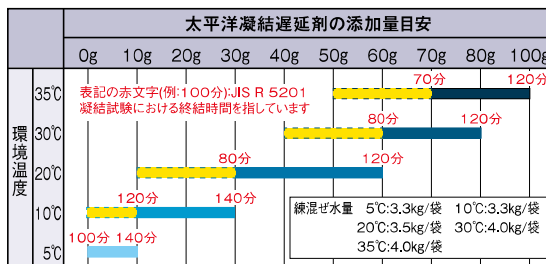
試験項目	試験結果	準拠試験方法	
硬化時間	1時間以上	東・中・西日本高速道路株式会社 の構造物施工管理要領 「左官工法による断面修復の 性能照査」による	
断面修復材の外観(塗装無し)	均一で、われ、はかれ、 ふくれ、がない		
硬化収縮性(%)	0.05		
熱膨張性(×10 ⁻⁶ /℃)	1.5		
コンクリートとの 付着性 (N/mm ²)	標準時		2.2
	湿潤時		2.0
	耐アルカリ性試験後		2.1
	温冷繰返し試験後		2.0
圧縮強度(N/mm ²)	47		

● 上記データは標準配合時の試験結果です。また、厳密に管理された試験室内にて実施されたデータであって、現場においては異なる数値を示す場合があります。

● 上記データのうち「圧縮強度」は、4×4×16cmの角柱供試体により測定した結果です。φ5×10cmの円柱供試体の場合は、この値よりも小さくなる場合があります。

施工概要

- 劣化あるいは脆弱化した部位を、はつりあるいは高圧水で完全に除去し、健全なコンクリート面を露出させて下さい。
- コンクリート面は十分に清掃して、埃や汚れを取り除いて下さい。
- 鉄筋が発錆している場合には、防錆処理を施して下さい。鉄筋防錆材には「NEXSUSペースト」をご使用下さい。
- 施工面には適切なプライマーを塗布して下さい。本製品では「TMポリマーC」または「太平洋エフェクトA」を推奨します。いずれも、原液を清水にて2倍に希釈したものを100～150g/m²で塗布して下さい。
- モルタルを練混ぜる際、過度の練混ぜによる泡の巻き込みすぎに注意して下さい。太平洋凝結遅延剤の添加量は右図を参考にして下さい。
- 練混ぜ量は、作業体制、環境条件等によって調整し、一度に大量のモルタルを練混ぜないで下さい。
- 1層めの塗り厚は約5mm程度とし、下地に密着するように施工して下さい。その後の塗り重ねは追いかけて下地となじむように行って下さい。
- 最終仕上げは、モルタルが締まった後に、金ゴテ仕上げを行なって下さい。補修後は急激な乾燥を受けないよう、シート等を用いて養生を行なって下さい。
- 詳細は、施工要領書をご参照下さい。
 ※NEXSUSペースト、TMポリマーC、太平洋エフェクトAについては、別途カタログをご参照下さい。



ご使用になる前に、必ずご確認ください。

●本カタログに記載される性能例他の事項は代表的な実験値や調査に基づくものであり、「すべての現場諸条件」に当てはまるものではありません。●ご使用になる前に、使用の目的や要求性能、および使用される場合の現場諸条件を考慮して、本製品が適正であるかどうかのご検討をお願いいたします。●特に、現場において実施されることの多い「圧縮強度」、「付着強度」については、試験体作成時の配合や環境温度、成形方法、試験体寸法や形状、その後の養生条件等により下回る数値を示すことがあります。●試験手順については、工事仕様書、発注者仕様書、または関連する指針(案)等をご確認頂き、必要に応じて監督係員と協議して事前に確定しておくようお願いいたします。

使用上の留意事項

- 練混ぜ水は、水道水またはそれに準ずる清水を用いて下さい。
- 粉末樹脂の性能を確実に発揮するため、練混ぜは2分以上行って下さい。また10℃を下回る低温時には45℃以下のお湯を使用するなどして練上りが10℃以上となるよう調整して下さい。
- 30℃を超える高温時には、冷水・氷水を使用するなどして、練上りが30℃以下となるよう調整して下さい。
- 欠損が大きいなどはく落の恐れがある場合は、鉄筋の設置、アンカー、メッシュの取り付け等のはく落防止対策を行って下さい。
- 海水の影響を受ける箇所には使用しないで下さい。
- 外気温が5℃以下の場合は、作業を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、シート等の覆いの他、ヒーター等の保温措置を講じて下さい。
- 施工中および施工後早期に強風、日射、降雨、降雪等の影響を受ける恐れがある場合は、シートで覆う等の養生を行って下さい。
- 練り混ぜには、アルミニウム製の羽根は絶対に用いないで下さい。
- 亜硝酸リチウムの添加は有害なNOxガスが発生しますので、絶対に行わないで下さい。
- NEXSUS-Super-の保管は、雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等を敷いて床面から離れた状態で、ビニールシート等で覆って下さい。
- 廃棄する場合は、産業廃棄物として専門処理業者に廃棄をご依頼下さい。
- 排水等は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に従って廃棄して下さい。



安全上の注意事項

- 本製品はカタログに記載されている方法でご使用下さい。
- 本製品はセメントと同様にアルカリ性を示します。使用の際は、眼、鼻、皮膚および衣類に触れぬよう保護具(ゴム手袋、保護メガネ、マスク等)を着用の上、ご使用下さい。
- 誤って目に入った場合は、直ちに清水にて十分洗浄した後に医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着すると肌荒れを引き起こすことがありますので、付着した場合は直ちに水洗いして下さい。
- 作業後は、手洗い、うがいをして下さい。
- 詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

このカタログの記載の諸性能および諸物性は、環境条件や使用条件などによりカタログと異なる結果を生じることがあります。十分にご検討の上、ご使用頂きますようお願い申し上げます。このカタログの記載内容は、予告無しに仕様や取扱いを変更することがありますので、ご了承下さい。

太平洋マテリアル株式会社 <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 TEL.03-5832-5217

北海道営業部	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	☎ 011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎ 022-221-4511
東京支社	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階	☎ 03-5832-5240
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	☎ 052-452-7141
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル4階	☎ 06-7668-6001
広島営業部	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル	☎ 082-261-7191
高松営業部	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎ 087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎ 092-781-5331